

「ボランティアスキルアップセミナー PART 1」

★事業の概要★

事業のねらい

交流の家において可能な体験活動に対応できるよう、基本的な知識と技能について研修を行うとともに、施設ボランティアの養成を図る。

期 日

- ① 平成22年 5月22日(土)～ 5月23日(日)
- ② 平成22年 5月29日(土)～ 5月30日(日)

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

高校生以上の青年

参加者数：参加募集人数

- ① 12名(教育関係者1人、一般1人、大学生2人、高校生8人)：30名
- ② 19名(教育関係者4人、一般1人、大学生2人、高校生12人)：30名

講 師

国立大雪青少年交流の家職員

日 程

1回目		1400 1430		1630 1700 1730 1830				2030		2200		
5/22 (土)		受付	開会式	アイスブレイク		休憩	つどい	夕食・休憩	ボランティアって なんだろう?		入浴	休憩
7:15 7:30 9:00		1200 1300		1500								
5/23 (日)	つどい	朝食	ニュースポーツ	屋食・休憩	クラフト	解散						
2回目		1400		1900				2100		2200		
5/29 (土)		受付	野外炊事				室内ゲーム		入浴	休憩		
7:15 7:30 9:00		1430 1500										
5/30 (日)	つどい	朝食	ハイキング		閉会式	解散						

★プログラム紹介★



①「アイスブレイク」

参加者と職員、そして参加者同士の緊張を解きほぐすアクティビティを体験しました。



②「ニュースポーツ」

キンボールやドッチビーの体験を通して、ニュースポーツを実践する上での留意点などを学びました。



③「クラフト」

アロマキャンドル、おがカラー、ミサンガづくりを体験し、クラフトづくりのポイントを学びました。



④「野外炊事」

野外炊事を通して、グループごとに作業をする楽しさや、参加者同士の仲間意識を感じました。



⑤「室内ゲーム」

さまざまなゲームの体験を通して、その進め方や組み立て、雰囲気作りのポイントなどを学びました。



⑥「ハイキング」

施設周辺の森を探索しながら、ネイチャーゲームを体験し、自然を楽しむ方法について理解を深めました。

企画・運営のポイント

- ① ボランティアのきっかけづくりやその楽しさを味わえるよう、交流の家で体験できるニュースポーツやクラフト、野外炊事といった基本的な体験活動を中心にプログラムを組んだ。
- ② 経験のあるボランティアには、過去の経験を語ってもらったり、ニュースポーツの指導に協力してもらうなど、彼らのスキルアップの場をプログラムの中に盛り込んだ。
- ③ ボランティアとの関係が深められるように、各プログラムの講師を交流の家職員が全て担当した。

事業を終えて(成果・課題)

- ① 基礎的なことを学ぶ内容を充実させたことで、ボランティアとして必要なスキルを広く学ぶと同時に、ボランティア活動の楽しさを伝えることができた。
- ② 体験的な活動を中心にプログラムを企画し、交流の家職員が講師を務めたことで、参加者同士、さらには職員と参加者との関係を深めることができた。
- ③ より高度なスキルを身につけられる内容のプログラムを組み、一層ボランティアとしてのスキルを向上させていくとともに、新しい参加者の確保のため、期日の設定や広報のあり方について検討をしていく必要がある。